



編集発行  
羽津北小学校  
PTA広報部

印刷  
阿竹印刷工業(株)

第 1 号

羽津北小学校PTAは四月二十七日の創立総会をもって新しい組織で無事船出、新しい広報紙「けやき」第一号ができました。

PTA活動や学校行事さらに教育に関する情報を出来る限り早く提供し、読みやすい、親しみのある広報紙をめざし、PTA活動を盛り上げる大きな柱としてけやきの木のように大きく育ってほしいと念願しています。

本来PTAは親と教師が一緒になって子供たちの健全育成、学校や家庭だけでは解決の期待出来ない問題を考えたり、また教育環境の改善を実施していくところというところに存在の意義があることは、会員の皆さんにもよく理解されていることと思えます。しかしながら行事への参



PTA会長  
伊藤 淳一

ごあいさし

加が少なかったり、役員、委員の引き受け手が少ないなど基本的な組織の問題がいつも課題として解決されないまま過ぎてきているのが現状のようです。発足当時のように単に学校への援助活動だけのPTAであれば、それでもよいと思えますが今日のようには子供たちの非行、安全など社会の変化に対応して発生してくる数多くの課題に向って、その解決をしようとする時、学校や家庭だけの努力に加えPTAという組織的な活動は欠くことの出来ないものになっています。このように考える時、今一度、団体活動の原点である、活動本来の趣旨を一人でも多くの会員の方に理解していただき、活動に参加していただけるような事業計画を推進しなければならぬと痛感いたします。

「けやき」を通して全体の活動を知っていただくと同時に会員の皆さんが気軽に参加していただける小活動を学級活動や別活動の中にとり入れ、心のかよったPTA活動が羽津北小学校PTAの基礎となるよう親と教師で努力しようではありませんか。

会員の皆さん全員の協力とご理解を心より期待しています。



# プロフィール



学校長  
安達 正秋

### ご挨拶

この四月、新設の本校に赴任して、早や一カ月余。運動場のホールには、一父兄からいただきました鯉のぼりが、子供達の成長を祝福するかのよう泳いでおります。

着任して第一に感じたことは、PTAや地区の方々への教育に対する関心、理解の深さです。地区のみならず、新設校に対する期待がひびひと心に迫ってくるように感じます。有難いと思うと同時に身の引き締まるものを感じております。



教頭  
田村 節生

### 新設校に着任して

すべてが新しい。そして一歩からの出発。希望と責務の重さを痛感して、着任しました。学校にきて、最初に出会った子どもから挨拶。その顔をしながらも、元気で「おはようございます」といって挨拶をうけました。ほのほとしたあたたかさを感ずるすがすがしい気持ちになりました。このひと月、羽津北小学校

ことに騒々しい毎日が続くと思いがすが、私共としては、子供達の安全を確保しながら確かな授業を進めたいと思っております。また、この機会に汗を流し一生懸命働く工事関係者の姿を見て、働くことのきびしさ、勤労の尊厳、それに感謝することの出来る子供を育てたいと思っております。

「工事の進展につれて、それに伴う環境整備も必要になってまいります。それは、PTA会員の皆様のお力添えをお願いし、子供達が伸び伸びと生活できる環境を整えてやりたいと念願しております。

も、互いに責任感を持つことがあっては正しい教育の出来るはずがありません。学校の私達も、そして親の皆さんも、それぞれの教育、しつけのあり方を確認し、そのついで、連携を保つべきところは密接に連携を保つて、正しい見方のできる心豊かな子供を育ててまいりたいと思っております。

運動場で古釘を拾っている私の姿を見て「校長先生、苦勞さん」と声をかけていく子供達、そばへ寄って来て「手伝おうとする子供達、素直で明るいこの子等の、心の中に持っているよいものをせひ見つけ伸ばしてやり、そして幸せをつかませてやりたいと思う田村です。

この言葉の持つ意味の重さを感じました。同時に生をうけて、たゞ今、出会ったこの子たちと教師、子どもたち相互の出会い。教師と父兄の出会い、この出会いのひとときを、この上もなく大切にしていきたいと思っております。

「校舎は新しく立派である。この中に506名の子どもの教育が始まるのだ。校舎に馴染まない教育活動を通して、羽津北の魂が育つ」着任と同時にこんなことを、心に強く感じました。

私は、一期一会という言葉が大好きです。もともとこの言葉は、茶の湯の言葉で、きよしの茶会を一生一度しかない茶会だと思つて、主人も客も、その席に臨むべきだという意味です。茶道の本質を示すものだと思います。とりわけ、教育について、

- ①氏名
- ②住所
- ③担当学級、学科
- ④趣味、特技
- ⑤教育についてひとこと



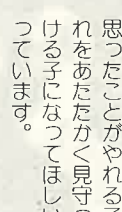
①杉谷 幸子  
②四日市市西宮田町264-13  
③1年1組



①小林久美  
②三重郡朝日町朝日ヶ丘21095  
③1年2組



①小倉弘子  
②四日市市末広町12の6  
③1年3組



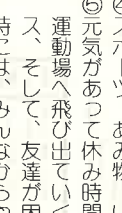
①岡田ふみ子  
②四日市市茂福船町5007の2  
③2年1組



①多田由美子  
②三重県四日市市小林町2097番地  
③2年2組



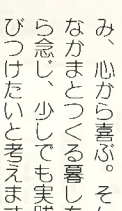
①山本和子  
②四日市市大宮町25-17  
③2年3組



①野田 和  
②四日市市大字茂福154-14  
③4年3組



①堀越博幸  
②四日市市日永西3丁目23の17  
③3年1組



①鈴木栄子  
②久居市神原町7227  
③3年2組



①筒井和子  
②四日市市東新町15-2  
③3年3組



①平田清則  
②四日市市大字羽津5167の43  
③5年1組



①加藤心み子  
②四日市市南垂坂町810の116  
③5年2組



①内山治男  
②鈴鹿市中若松町494  
③5年3組



①平田清則  
②三重郡川越町大字南福崎89  
③担任外



①達知和子  
②鈴鹿市白子3丁目10-25  
③学校事務



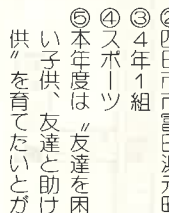
①生川和子  
②四日市市羽津中3丁目31-6  
③技能員

子どもたちが、希望に胸をくぐらせて、登校し、充実した気持ちで一日を終え、帰宅していき。そんな学校で「知、徳、体の調和のとれた人間豊かな子ども」をめざし、微力ながら精いっぱい頑張りたいと思っております。皆さんのご協力と、ご指導を切にお願いたします。

この言葉の持つ意味の重さを感じました。同時に生をうけて、たゞ今、出会ったこの子たちと教師、子どもたち相互の出会い。教師と父兄の出会い、この出会いのひとときを、この上もなく大切にしていきたいと思っております。

最後に紙面を借りてお礼申し上げます。毎朝の交通指導、本当にご苦労さまです。心から感謝をしております。その際、皆さまご自身も事故にあわないよう、くれぐれもご注意をお願いいたします。

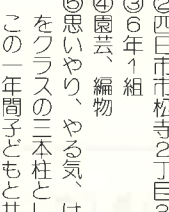
①黒崎豊美  
②四日市市あさけが丘3丁目1-21  
③養護  
④書くでも書道でも、とにかく強制されず、字を書くこと。  
⑤痛いところを、はつきり「ここが痛い」と言えて、どうすればよいのかを自分で考えることができる人間を育ててゆきたい。



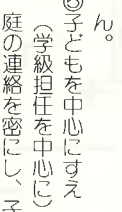
①末澤元宏  
②四日市市雷田浜元町11-5  
③4年1組



①服部真左子  
②四日市市広永町1395  
③4年2組



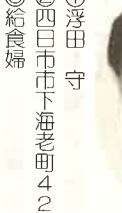
①桜井美佐子  
②四日市市松寺2丁目307  
③6年1組



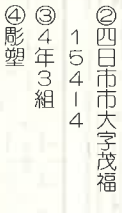
①水谷裕康  
②三重郡菟野町竹成2146の1番地  
③6年2組



①稲田千香子  
②四日市市ときわ3丁目11-8  
③給食婦



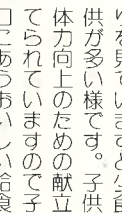
①浮田 守  
②四日市市下海老町42225  
③給食婦



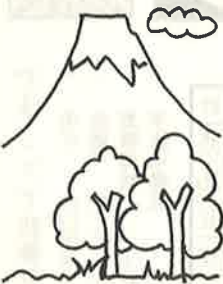
④手芸、編み物、油絵、スキ、洋裁、花  
⑤子どもたちが、自分の持っている可能性を十分に発揮している可能性を十分に発揮している可能性を感じ、学校での生活に満足感、充実感、成就感を与えていきたい。



①西村 茂  
②四日市市笹川8丁目45番地 公団住宅10-415  
③6年3組



①角田朝子  
②四日市市東新町14-16  
③給食婦



④生け花  
⑤辛抱強い子、なんでも話せる子になってほしいと願っている。  
子どもとの触れ合いを多々、もつように努めたい。

④楽しい学校生活を送り、ひとりひとりを生かしていくのに欠かさないものは学級のみです。その学級の力を生みだしていくために、まがいがい素直に認められる子、言いたいことが言える子、思ったことが言える子、それをあたたく見守ってあげる子になってほしいと願っています。

④子どもをよく知って個性を尊重し、ひとりひとりに合った対応の出来る教師でありたいと思っております。

④子どもを中心に加え、学校(学級担任を中心に)と家庭の連絡を密にし、子どもを良い方向に伸ばしていくためにがんばりたいと思っております。

④子ども達の成長を祝福するかのよう泳いでおります。



